

ユニット名	里山焼かんかね？
代表者	岡田 愛世
所属人数	25名
達成に資するSDGs 目標	13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう
活動概要	奥出雲町にある「ダムに見える牧場」の里山を借り、焼畑農業を行っている 3～5月：里山の竹林を伐採し、伐採した竹を焼畑予定地に並べる。 また、焼畑予定地周りの防火帯を整備する。 この間、4月ごろに新入生勧誘を行い、メンバーを増やす。 6月初旬：「火入れ」を行う。「火入れ」は並べた竹に火をつけて燃やす行為を指す。 「火入れ」1週間後に種まきを行う。 6月～12月：2、3週間ペースで様子を見る。 場合によって、雑草取りや間引きを行う。 12月中旬：収穫物を用いた収穫祭を行う。 収穫祭では学内で行い、収穫物を用いた料理を学内外問わず参加者に提供する。 また、今年度の活動報告を行う。 2月初旬：焼畑農業を含む有機農業に関する講演会を開催する。
成果物の公表予定、 社会への波及効果	焼畑農業に関する講演会およびイベントを行うことで、より多くの人に焼畑農業に対する正しい理解を得ることができ、結果として自然環境への興味関心を引き出すことができると考えている。また、講演会による社会への成果物の公表を行うことで、本学校のサークル活動を多くの人に伝えることができる。
活動報告書	佐白地区での焼畑実践に加え、奥出雲町との共同事業を行った。アツミカブのような日本固有の種に加え、奥出雲町で古くから栽培されてきた横田小蕎麦を栽培した。当該事業終了後には、成果発表を行った。島大生を除き16名の方にお越しいただき、地元の方に事業の内容やサークルの紹介をするのみならず、環境について発表することができた。特に、地域に根差した農業について、地元の方からお話を伺う機会を設けることができたため、相互に情報交換の場となったほか、地域とのつながりを作ることができた。今後は、本事業でできたつながりをより一層強固なものにするため、地域と関わる機会を増やしており、イベントごとなどがあれば参加している（しめ縄づくりなど）。 昨年の後期に学内にて弊サークルの活動紹介を行った。これに合わせて、松江市SDGs推進課の方をお招きして、松江市のSDGsについて出前講座を行ってもらった。 今年度の焼畑事業・SDGsユニットとしての活動をロータリークラブの定例会にて発表した。SDGsユニットとしての活用に加え、これまで行ってきた事業実績を発表したほか、松江市でも事業を検討している旨を伝えた。また、森林に関する事業を行っている方々とつながることができた。